

# 東高通信

令和3年度 5月号

今月号の内容

- ・5～6月行事予定
- ・学年運営ビジョン

インターハイの予選が始まり、何かと慌ただしく過ごす日々ですが、中間考査も近づいています。こんな時こそ文武両道の精神を遺憾なく発揮して下さい。

## 学年運営ビジョン

3学年より

3学年主任 佐藤 伸也

期待と不安の中で迎えた入学式から早2年、これまで誰も経験したことのない学校生活を経てたくましく成長し、最終学年を迎えました。今年度最初の学年集会(4月13日)では共通テストまで277日(日曜日で換算するとあと39週)でしたが、この東高通信が発行される日にはあと何日になっているでしょうか。

4月末、ようやく新年度が落ち着いたと思った矢先、休校で学校生活がストップしてしまいました。どのような気持ちで、何を自宅待機の5日間を過ごしたのでしょうか。今年度もコロナ禍での学校生活、大学受験になります。高校3年生のこの一瞬一瞬の貴重でかけがえのない時間、授業や部活動などを止めないためにも昨年度以上に感染対策を行っていきましょう。

3年生の前半は、これまで以上に「文武両道」に努め、学習と部活動の両方の充実を図る時期です。また、後半は自己の進路目標達成のため、受験生としてひたすら学習に取り組む日々になります。まずは、現在最終段階を迎えている部活動に最後まで本気で、全力で取り組んでください。悩みながらも最後までやり切った経験が次のステップに進むよい切り替えのきっかけになります。そのために今から準備をすべきことを3つ挙げます。

### ①入試までのスケジュールを立てる

入試までにいつ何がするのかを把握しながら前もって目標を設定し、それを起点として逆算していくこと、それによって目標達成に向けて日々行動していくことが大切です。特に、部活動が2学期まで必ず続くという人は、緻密な計画が必要です。今から真剣に取り組まなければ、部活動引退後に厳しい状況に置かれてしまいます。

今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受けることになると思います。大学の選抜要項等を自分で取り寄せ、目を通すことはもとより、こまめにホームページをチェックして対策をしてください。また、オンラインでの説明会やオープンキャンパスにも積極的に参加しましょう。

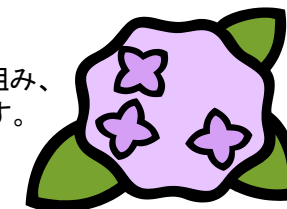
### ②授業に集中して取り組む

限られた生活時間の中で学習時間を確保し、集中できる絶好の機会が授業です。最後の大会が終わるまでは、思ったように受験勉強に取り組むことは難しいかもしれませんが、だからこそ授業を一番に考え、授業の中で力をつけていかなければなりません。私立大学を希望しているという人も、すべての科目に積極的に取り組もう。大学で専門分野について学びを深めたり、社会人として仕事に向き合ったりするときに、高校までの偏りのない学習は広い教養として成長の土台となります。また、クラス・学年として最後まで取り組む姿勢は、学年全体の雰囲気を作り出し、学力向上の推進力を生み出します。予習・復習を怠ることなく、集中して授業に臨んでください。そして、最後まで初心を忘れず、しっかり取り組み続けてください。

### ③1日1日を大切に

部活動でも学習でも、本番が近づくにつれ少しずつ焦りが出てきます。そうなる前に今からその時その時をしっかりと考えて過ごす習慣をつけましょう。昨年度の共通テストを見ると「知識・技能」に加え、「思考力・判断力・表現力」を重視する出題形式になっています。その対策としては丸暗記ではなく、よく理解し、考えて結論を導くことが最も大切です。時間に追われだすと暗記に頼る学習になりがちですが、それでは共通テストはもろんのこと、二次試験にも対応することができず、失敗の一番の原因となります。

これから3月までの高校生活は、非常に中身の濃いものとなるはずですが、全力で取り組み、充実した日々を送ることで、一人でも多くの人が進路実現できることを心から願っています。



日	曜	学校行事等	学年・進路・生徒指導	生徒会・部活動関係
5月				
10	月			
11	火	内科検診①		IH卓球地区大会(~12日)、IHバド地区大会(~13日)
12	水	【45分授業】	前期生徒会役員選挙	
13	木			
14	金	【45分授業】		IHソフトボール女子地区大会(~17日)、サッカーIH地区大会(~17日)
15	土		土曜学習会	IH弓道地区大会(~16日)
16	日			
17	月			
18	火	中間考査① 尿検査② PTA役員会② 常任委員会 子供の学習費調査説明会		
19	水	中間考査②		
20	木	中間考査③		
21	金	中間考査④	壮行会	
22	土			
23	日			
24	月	教育実習2・3週間開始、 面接週間(45分短縮)	生徒会役員認証式	
25	火	内科検診②		
26	水			
27	木			
28	金		進研マーク(3年、~29日)	IH山岳県大会(那須、~29日)、IH卓球県大会(~31日) IH陸上県大会(~31日)
29	土			サッカーIH県大会
30	日			
31	月			
6月				
1	火	内科検診③	衣替え、県下一斉服装指導	
2	水			
3	木			
4	金	教育実習2週間終了		IH剣道県大会(郡山、~7日)、IH柔道県大会(いわき、~7日)
5	土			IHソフトボール県大会(~7日)、IH弓道県大会(~7日) IHテニス県大会(郡山、~7日)
6	日			
7	月			
8	火	内科検診④、尿検査③	2学年PTA	バドミントン地区総体(~9日)
9	水		3学年PTA 県北地区自転車一斉指導	
10	木			

## 2学年より

2学年主任 佐藤 茂雄

2学年は文理選択でクラス替えを行い、また校舎も本校舎に移動し、環境も新たに令和3年度をスタートいたしました。中堅学年として、3年生の後姿を見ながら、1年生の良き先輩として今年1年頑張っていきたいと思います。

1. 基本的な生活習慣の定着を図り、中堅学年としてふさわしい健全で自律的な生活態度を育成する。
2. 生徒一人一人の進路目標を達成するための基礎学力を身につけさせる。
3. 家庭での学習方法が確立できるよう支援をする。主体的に学習に取り組める姿勢を育成する。
4. 進路意識の高揚を図り、自己の将来像について具体的に考える態度を育成する。
5. 国際社会・情報社会に対応するため、自ら課題を発見し自ら解決できるような「生きる力」を涵養する。
6. 幅広い読書活動を通して魅力ある人間性を培う。(朝の読書)

数値目標:

- ①年間皆勤者 120名
- ②家庭学習時間1日平均2時間以上の生徒 80%以上
- ③部活動継続者 90%以上

昨年は休校期間があり、自宅学習の機会が多くありました。計画的に実施できた生徒は果たして何名いたでしょうか。家庭学習時間調査では24%と低い数字でしたので、家庭学習時間の確保について、さらに工夫し取り組ませたいと思います。

また、学年では読解力を伸ばしたいとの理由から、読書習慣をつけさせるため、朝の時間を利用し読書に取り組ませています。昨年図書館利用は53名と少なかったため、この目標についても引き続き取り組みたいと思います。学年では、1組担任・渡部先生の私書を学年文庫として使用させてもらっています。読解力はすべての教科につながります。御家庭でも、是非お勧めください。

今年は大きな行事が控えています。1つは9月初旬の公開文化祭です。どのような形で実施できるか未定です、生徒共々楽しみにしています。

更に、2学年として大きな行事である修学旅行が11月中旬に予定されています。こちらについても、果たして実施できるのか明確にはなっておりませんが、情報収集し、保護者の皆様に状況をお伝えしていきたいと思います。

今年度はインターハイを開催することが決定しました。昨年できなかった大会ですので、部活動にも力が入っているところですが、勉強時間の確保も東高生に与えられた使命だと思っておりますので、御家庭での声掛けをお願いいたします。

### 【今後の予定】

- 5月18日～21日 中間テスト
- 6月8日 2学年保護者会(進路講演会)・・・後日御案内いたします。
- 6月28日～7月1日 期末テスト
- 7月14、15日 スポーツ大会
- 7月16日 1学期終業式
- 8月23日 2学期始業式
- 9月4日 東桜祭
- 9月14日 2学年保護者会(修学旅行について)
- 11月8日～12日 修学旅行

令和3年度が良い1年になるよう、今後とも御理解と御協力を宜しくお願いいたします。

## 客観視ができるということ

1学年主任 佐藤 道郎

「蟪蛄、春秋を識らず。伊虫、豈に朱陽の節を知らんや。(けいこ、しゅんじゅうをしらず。いちゅう、あにしゅよのせつをしらんや。)」という昔の中国の偉いお坊さんの言葉があります。「蟪蛄」というのは夏にうるさく鳴くセミのことで、ご存知のようにセミは幼虫時代を5～6年間を土の中で過ごし、夏のわずかな期間だけ地上にあらわれ、鳴くだけ鳴いて命を閉じてしまいます。この言葉の意味するところは、夏以外の春や秋を知らないセミが、どうして自分が鳴いている季節を夏だと知ることができるだろうか、といった感じです。セミはずっと土中で過ごしているため、自らが知り得る季節は夏しかありません。他の季節とくらべることができて初めて今が「夏」だとわかります。夏に成虫になり、夏しか知らないで死んでいくセミは春や秋、もちろん冬がこの世にあることも知らずに、そして自分が命を限りに鳴いた季節が夏だということも知らないのです。

「生まれ変わったらセミになりたい！」と考える人はあまりいないでしょうね。長い時間暗い土の中で過ごし、やっと日の目を見たと思ったら、たった1週間しか生きられない。(おまけに一生懸命鳴いているのに人間からはうるさい、暑苦しいと煙たがられるのですから。)でもそれは、平均80年を生きる人間の側からみた一方的な見方です。セミはその人生ならぬセミ生を、彼らなりに精一杯生きています。セミからしてみれば、物騒で野蛮で苦しみしかないこの世界で80年も生きなければならぬ人間のことを哀れだと思っているかもしれません。

閑話休題。先ほどの言葉を我々人間自身に置き換えて考えるとどうなるでしょうか。セミがどのような状況に自分が生きているのかを知らないのと同じように、私たち人間も、いつも自分が世界の中心であり、自分こそが正しいと思い込んではいないでしょうか。我々は色んな不平や不満を抱えて生活しています。特に、他から評価されること(されないこと)に不満を感じている人は少なくないはずで、『どうして親は自分をもっとホメてくれないんだ？』『何で先生はもっといい点数をくれないんだ？』『監督はなぜ俺をレギュラーにしてくれないんだ？』些細なことから人生に関わる重大なことまで、自分の思い通りにならないツラさ、ムナしさをみんな感じながら生きています。自分が正當に評価されないのは、周囲の人がホントの正しい自分をわかっていないからなのでしょうか？

夏しか生きないセミが夏以外の季節を知らない(知りようがない)のと同じように、他者に不平不満を感じるオオモトの原因は、実は周囲ではなく自分自身にあるということに、我々は気づく必要があるのかも知れません。悪い点数をとったらなぜ悪い点だったのかを客観的に検証したり、レギュラーを外されたらその結果だけにガッカリするのではなく自分に欠けているものは何だったかと外から冷静に見つめる、つまり「客観視」する姿勢が大事なのです。

ワガママで自分がかわいくて仕方がない私たちは、自分を「客観視」することがホントに苦手です。けれども、何事につけてもまずは一歩引いて冷静に自分を「客観視」できる態度を身につけること、それが、独りよがりの“ガキ”から、周囲に気配りのできる“オトナ”へレベルアップする第一歩ではないでしょうか。

皆さんもぜひこれまでの自分の姿を「客観視」してみてください。そこから生まれた反省を今後の高校生活に活かせる人こそ、この東高というステージで大きく飛躍できる人ではないでしょうか。

